

社会福祉法人晋栄福祉会

# 特養と連携、楽しいグループホームに

特別養護老人ホーム高山ちどり・高山ちどり別館  
 施設長 **近藤 光**さん  
 グループホーム壺分町ちどり  
 管理者 **谷利 華代**さん  
 特別養護老人ホーム高山ちどり・高山ちどり別館  
 介護課長 **成田 保則**さん



「グループホーム高山ちどり」建設現場の視察  
 左から、成田さん、谷利さん、近藤さん。

今年春、社会福祉法人晋栄福祉会は奈良県生駒市で「(仮称)グループホーム高山ちどり」をオープンする。法人による生駒市のグループホームはこれが2か所目(法人全体では4か所目)。同じ敷地内にある特別養護老人ホームと連携し、認知症高齢者の身体状態に応じたケアが行える。立ち上げにかかわった3人の職員に施設の方針をうかがった。

(文/和田依子 写真/岩佐俊英)

## 人のかかわりと外出を大事に

—— 開設までの経緯を教えてください。

近藤: 生駒市は奈良県内で3番目に高齢者人口が多い地域ですが、受け皿となる介護の施設は十分ではありません。



近藤さん

晋栄福祉会は2008(平成20)年、特別養護老人ホーム高山ちどりをオープンし、その後、隣に別館を増築しました。定員は合わせて100人。豊かな自然に囲まれた静かな環境が特長です。2021(令和3)

年、生駒市が新たなグループホームを公募し、私どもの法人が選定され、整備し開設することになりました。

谷利: 生駒市では私が管理者を務める「グループホーム・サポートハウス壺分町ちどり」が今年で9年目を迎えます。市内のグループホームは、他に数か所しかなくて、多くの認知症の方が入居を待ってられる状況でした。

—— 新施設の特長を教えてください。

谷利: 各フロア9人ずつの2階建て。定員は18人です。ご利用者が日中過ごすリビングルームを広く設計し、感染予防のための空調機器を導入します。面会室などをWi-Fi環境にして、コロナ流行などで

直接お会いできない場合でも、タブレットによる面会ができるようにします。外には小さな菜園と収穫した野菜の「洗い場」も設置します。

成田: 内装では、トイレや居室の扉の色に変化をつけて、ご利用者の認知レベルを下げないような工夫をしています。

—— 新しいグループホームではどのようなケアを目指しますか。

成田: グループホームの本来の目的は、ご高齢者の笑顔を引き出すことです。身体介護より間接介護が求められる。認知症の方は人と接しているとき、いちばん生き生きとした表情をされます。言葉だけではなく、身振り手振り、隣にいるだ

けでもいいので、コミュニケーションを大事にしていきたいと思います。

また、外出は積極的にしたいですね。施設に入所すると、バリアフリーの住環境がかえってご高齢者の筋力を低下させることがあります。高山地区では多くの方が高台に住んでおられ、毎日坂を上り下りするので、皆さん本当にお元気です。施設に入られても身体機能が衰えないようにします。

谷利: ご利用者が好きなことをして楽しく過ごされるのが一番いい。「介護」ではなく「遊び」が大事です。

成田: そうですね。公園にお連れしたり、小学校の運動会を見に行ったり、車に乗って近所の「足湯」に出かけたり…。近所にある警察犬の訓練施設との交流も考えています。



成田さん

## 多様な働き方が可能に

—— どのような職員を求めていますか。

成田: 短時間の勤務を希望している方にぜひ来ていただきたい。たとえば「子どもが学校に行っている間、3時間だけ働きたい」という方も歓迎です。グループホームのご利用者は大変な介護が必要というわけではないので、経験がなくても大丈夫です。

谷利: 「壺分町ちどり」では、今、年配の介護職のスタッフが一日中利用者さんの横でのんびり折り紙をしています。一見、「仕事をせず遊んでいる」と思われそうですが、認知症のご利用者がゆっくりと

過ごすためにはすごく大事なことです。体力が必要な仕事は厳しいという年配の介護職の方にも、来ていただける職場です。成田: 介護業界は人員確保が難しいのですが、特養だけがあっても、なかなか人が集まりません。しかし、グループホームができると、職員も働き方によって流動化できると思います。若い方にはまずグループホームで短時間働いてもらって、将来的に長く働けるようになれば、同じ敷地内の特養に異動していただくというのもひとつの方法かなと思います。

ご利用者の立場から見ると、将来身体状況が悪くなって、グループホームから隣の特養に移ることになっても、顔見知りの職員が働いていれば、安心ということになります。

## 認知症バリアフリー宣言の法人として

—— 認知症への対応について特に取り組んでいることはありますか。

近藤: 私どもの法人では昨年3月から、「認知症バリアフリー宣言」\*1を行っています。「認知症の方でもどんどん外に出て活躍できる社会へ」という考え方を、保育を含めた法人全体に広げているところで、そうした雰囲気の中で新しいグループホームも開設されます。



谷利: 私にとって、「宣言」趣旨\*2は「当たり前のこと」に思えます。グループホームは認知症対応型施設ということになっていますが、「認知症だから」と特別視することなく、地域との交流や外出を楽しんできました。生駒市の「認知症サポーター養成講座」にも参加し、理解の輪を広げています。



谷利さん

近藤: 特養「高山ちどり」では、職員の意識改革を進めているところです。昨年9月には認知症サポーター養成講座で、奈良県医療センターの講師による認知症研修を行い、合計90人の職員が受講しました。参加者からは「改めて気づかされるが多かった」との高評価を得ました。

このたびの開設をきっかけに、特養の職員を若干名、グループホームの職員と一時的に入れ替えて、認知症に対するスキルアップを図ることも可能です。「高山」施設全体にとっても、良い刺激になるのではないかと期待しています。

\*1: 認知症バリアフリー宣言  
 官・民約100の団体から成る日本認知症官民協議会が行う認知症理解への啓発活動。

\*2: 晋栄福祉会の「認知症バリアフリー宣言」(2022年3月23日)

「認知症当事者の『自立できる力』を高め、住み慣れた地域で、『自分らしく』生活するための支援をします」



<https://www.chidori.or.jp/#dementia>

## グループホーム高山ちどり オープニングスタッフ募集!!

新規開設施設につき、介護スタッフ募集中!!  
 特養施設と隣接し、総合的な老人介護サービスを展開します。

社会福祉法人晋栄福祉会 グループホーム高山ちどり

〒630-0101 奈良県生駒市高山町8030 TEL:0743-70-1832 FAX:0743-71-2083

アクセス 近鉄けいはんな線「学研北生駒」駅下車徒歩約10分

お申し込み お電話またはHPより [www.chidori.or.jp](http://www.chidori.or.jp)

令和5年3月開設(予定)!!

## 晋栄福祉会 職員募集

詳細は晋栄福祉会ホームページへ!

しんえいふくしかい

↑1.入力して ↑2.クリック

<https://www.chidori.or.jp/>



募集職種: 介護職員(生活相談員候補含む)・看護職員・保育士  
 雇用形態: 正職員・非常勤(応相談)  
 採用施設: 晋栄福祉会 介護・保育各施設(大阪エリア、兵庫・神戸エリア、奈良エリア)

休日: 年間休日107日(1ヶ月に9日以上。2月のみ8日の休日)  
 年次有給休暇10日(毎年付与日数増加、最大20日)、  
 育児休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇(勤続10年)、  
 プリセット休暇(3~5日の連続休暇)

昇給: 年1回  
 賞与: 年3回4.2か月※令和3(2021)年度実績

実績各種手当: 夜勤手当・資格手当・業務手当・住宅手当・交通費

保険: 健康・労災・雇用・厚生年金保険

福利厚生: 退職金制度・育児休暇制度・研修旅行

教育制度: 内定者研修・新人研修・中堅職員研修・法人研究発表会・施設内にある研修委員会の年間計画に沿って実施  
 外部研修参加制度、資格取得推奨制度あり